

いぶりの消防・防災

胆振の概況 2018

● 消防

胆振管内には6つの消防本部が常備消防として設置されており、消火活動はもとより、防火査察の実施や救急救助活動、自然災害に対する防御活動等を通して、日夜、火災や災害から地域を守っています。

また、救急に対するニーズが高まっている中、救急業務の高度化への対応や救急救命士の養成等、救急体制の一層の充実に努めています。



(位置図)

◎胆振管内の消防本部

位置	消防本部名	住所	位置	消防本部名	住所
①	室蘭市消防本部	室蘭市東町2-28-7	④	白老町消防本部	白老郡白老町字石山20-24
②	苫小牧市消防本部	苫小牧市新開町2-12-7	⑤	西胆振行政事務組合消防本部	伊達市松ヶ枝町13-1
③	登別市消防本部	登別市中央町6-11	⑥	胆振東部消防組合消防本部	勇払郡厚真町錦町47-2

● 防災

胆振管内は大規模津波や有珠山、樽前山、倶多楽と噴火湾を挟んだ対岸の北海道駒ヶ岳（渡島管内）の4つの常時観測対象火山、室蘭市・苫小牧市及び厚真町に所在する道内屈指の大規模石油コンビナート、さらには、登別市や白老町などの大雨常襲地域への防災対策が重要課題となっています。

このため、各市町をはじめとする防災関係機関との緊密な連携のもと「安全で安心して暮らせる地域社会」を目指して、地域防災計画に基づき各種災害等に備えた対策を計画的かつ迅速に実施しています。

◎胆振管内の活火山（道地域防災計画より）

区分	火山名	火山周辺市町村（カッコ内は他管内）
常時観測火山	樽前山	苫小牧市、白老町、安平町、厚真町、むかわ町（千歳市、恵庭市）
	有珠山	伊達市、洞爺湖町、壮瞥町、豊浦町
	北海道駒ヶ岳	（函館市、森町、鹿部町、七飯町）室蘭市、伊達市、洞爺湖町
	倶多楽	登別市、白老町



指揮室設置運営訓練

● 防災教育

北海道では、地域の防災リーダーとして活躍してもらう「地域防災マスター」の認定や、町内会等で自発的に結成される「自主防災組織」の結成促進に取り組んでおり、防災体制の充実強化に向けた取組を積極的に進めています。

「地域防災マスター」の認定に必要な認定研修会は全道各地で実施しており、平成29年10月に洞爺湖町で開催した同研修会において、胆振管内で96人の方が新たに認定されました。これ以外の地域で認定を受けた方を含め、平成28年12月末で254人だった認定者数は113人増え、368人となりました。

また、胆振総合振興局独自の取組として、振興局職員などを対象に「避難所運営ゲーム北海道版（Doはぐ）」を用いた職場研修を平成28年から実施しており、防災意識の向上を図っています。

◎胆振管内の地域防災マスター認定者数

市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数	市町名	人数
室蘭市	13	伊達市	19	白老町	54	安平町	13
苫小牧市	91	豊浦町	11	厚真町	34	むかわ町	75
登別市	8	壮瞥町	5	洞爺湖町	45		

(平成30年1月末現在)

◎避難所運営ゲーム北海道版（Doはぐ）



Doはぐ実施状況

◎自主防災組織活動カバー率

	H27	H28	H29
全道	50.6%	54.3%	56.2%
胆振	58.6%	61.9%	65.8%

◎胆振管内の自主防災組織活動カバー率内訳（平成29年4月1日）

市町村	H29	市町村	H29	市町村	H29	市町村	H29
室蘭市	40.5%	伊達市	38.3%	白老町	73.1%	安平町	59.2%
苫小牧市	89.3%	豊浦町	22.6%	厚真町	27.1%	むかわ町	61.9%
登別市	66.7%	壮瞥町	5.3%	洞爺湖町	34.0%		